

京葉人材育成会会員の皆様へ

京葉人材育成会
会長 中村昌允

会員各位の皆様、明けましておめでとうございます。

いよいよ、4月から京葉人材育成会の研修事業を本格的に開始します。
役員一同、覚悟を新たに、気を引き締め、邁進していきますので、会員の皆様、
受講事業所の皆様の更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

会長として2023年は以下の重点課題として取り組んでいきます。

1. コンビナートの期待に応える研修カリキュラムにする。
そのためには、一歩、一歩、地道に努力を積み上げ、着実に実績を積み上げて、コンビナート各社からのご期待に応え、信頼を得る。
2. 研修事業初年度として、基盤構築に向け、受講応募者目標を500名以上として活動する。
会員の皆様には、一人でも多く、講座参加者を関係の方に、呼びかけていただきたい。
また、講師陣も、期待に沿えるような内容をお伝えしていく。
3. コンビナート各社の要請は、カーボンニュートラルが新たな社会環境として、石油・化学産業の大きな変革の時期に来ており、それぞれの会社が、どのように生き残っていくかが問われている。
次の新たな技術開発が必須である。新たな技術を安全に操業させることが求められる。
人材は、一人前といわれるには、約5年が必要といわれています。
“FUTURE PULL”の観点からの人材育成が必要である。
京葉人材育成会は、そのための「プラットホーム」の役割を果たせるように努めていきたい。

会員事業所、受講応募企業の皆様、
本年もご支援、よろしくようお願い申し上げます。